

令和5年度

保育所の自己評価表

吉野川市立鴨島呉郷保育所

【評価対象期間】

令和5年4月1日から令和6年2月29日

【評価責任者】

吉野川市鴨島町飯尾550-24
吉野川市立鴨島呉郷保育所

所長 寒川 一美

保育所における自己評価の結果

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				重点目標は年度初めに子どもの実態に合うよう見直しを行っている。全体的な計画は、保育所保育指針、保育の基本方針に基づき、保育所生活の全体を通して総合的に展開できるよう作成している。子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行うなど、保育所の社会的責任について全職員で確認している。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				0歳児と1歳児、個別の支援が必要な乳幼児について個別の記録を作成し、一人一人の特性に応じた援助ができるよう配慮している。また、クラス内研修で話し合い、その後も職員間で情報を共有して保育に反映している。全体的な計画、年間指導計画を基本とし、保育日誌で日々の保育を振り返り、次月の指導計画を立案している。毎月の指導計画でも評価を行い、考察・反省を記録し、次月の指導計画作成に生かしている。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				年齢による発達に合わせたプログラムであり、必要に応じて柔軟に変更することもある。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事については、日常の保育で取り組んでいる内容を基盤に運動会や表現会をするなどし、子どもや保育者の負担にならないように考えて行っている。新型コロナウイルス感染症が5類となったため、保護者の参加者人数等の緩和を図った。職員会議では行事のねらいや計画を明確にし、また予防対策に共通理解を図りながら、取り組んだ。実施後は記録を残し、反省会やレポートの提出などで反省・評価を行い生かすようにしている。保護者には、保護者会において開催時期や内容について協議を行っている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分 享 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職種・経験年数(在所年数)等を考慮し、職員配置を行っている。細やかで丁寧な対応をするために、職員の配置や役割分担を考え、職員の協力体制の基にその都度整えるよう努めている。仕事の分担・割り当ては適切であり、職員間で連携をして、協力して仕事を進めるようにしている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				職員会議や園内研修を毎月行い、情報交換や共通理解を図っている。職員が全員揃わない時は、会議や研修の記録を回覧できるようにして、内容を全職員が把握できるようにしている。また会議を短時間の2交代にし、全職員が参加できるようにしたり、必要に応じて話し合いの場を持ったりしている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				各クラスの指導計画は、全体的な計画に基づき立案している。計画の中では前月の子どもの姿を記入し、それを基に子どもの遊びや活動を計画している。また、支援が必要な子どもについては、加配保育士が担任と連携を図りながら、個別の指導計画を立案、実施、評価を行い、よりよい保育の実践ができるようにしている。異年齢児間の活動も自然にできている。各計画・記録は定期的に提出できている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				4月消防計画作成時に、1年間の避難訓練を計画し、火災、地震、水害、不審者対応の内容をいろいろな時間帯で設定し訓練を実施している。交通安全指導は園外保育等の機会に、安全確認や道の通り方等について行っている。家庭には、マチコミメール等を利用し、健康や安全についての啓発を行っている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	情 報 に つ い て	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				保育所における個人情報保護方針を策定し子どもや保護者・家族の個人情報の保護に努めるよう、年度当初に全職員に周知している。児童票やその他の文書についても、情報が見えないように十分配慮し、管理や処理を行っている。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				遊具、消防用設備、建物について専門業者による点検を決められた回数行っている。職員による毎月の遊具の点検も行っている。遊具・用具の整理・保管については、遊具・用具が扱いやすいように片付けを適宜行っている。不審者対応では、門や玄関の施錠をして侵入を防ぐとともに、防犯マニュアルに沿って年2回避難訓練を行っている。低年齢児の避難は、クラス担任以外の職員の協力が必要であり、協力しながらの訓練を実施している。毎日、給食サンプルを掲示している。
(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○					
(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。			○				
(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。			○				
出 納 経 理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				保護者会役員会において、予算案、会費の利用状況を説明している。また、監事である保護者役員に監査を受けている。	

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		今年度、新型コロナウイルス感染症が5類となり、小学校と交流する機会がもてた。 年長児が入学予定の小学校とは、入学説明会や体験入学について連絡を取り合い、保護者や子どもが参加しやすいように協力をしている。吉野川市教育支援連絡協議会からは、文書や連絡会にて学校や施設の特別支援教育について情報交換等を行っている。今年度閉所となるため、3～4歳児は、こども園へ出向き、同年齢の子たちとの交流の機会をもった。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。			○		
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		子ども、保護者のプライバシー保護や安全対策のことを考えると、保護者以外を対象にした参観日は難しい。地域の天寿会との交流を毎年、定期的に計画して行ってきたが今年度も、7月に縮小して実施して以降できていない。 毎年、保育所近くの畑で芋掘りに招待してくれる方がいる。今年もたくさん芋掘りをして、地域の方の温かさを子どもや職員も感じている。また、地域の南児童館とは、保育所以外の地域社会での公共のマナーを学ぶ機会となっている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○		園庭開放の事業は行っていない。子育て相談は、日頃の送り迎えの時間を利用したり、個人懇談や必要に応じて面談をするなどしている。市の保育所巡回等で専門機関や保健師より、子どもの成長・発達について専門的なアドバイスを得て、保護者に必要な情報を提供している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			保育所だより、クラスだより、保健だよりなどで情報を発信している。子どもたちの生活の様子などについては、昨年度より各クラスで、日々の活動をドキュメンテーションとして送迎時に閲覧できるようにしている。マチコミメールでは、台風時の対応や感染症についてなど、緊急を要する事についても知らせている。小学校に対しては、互いに開催行事の確認などは行っている。
(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○			
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		毎年、保護者による評価アンケートを行い、意見の把握に努めている。結果は保護者に公表し、運営に生かすようにしている。第三者評価については課題である。	
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				